

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
すぶらうとこども発達サポート		令和 7 年 3 月 24 日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	6	・活動内容に応じて廊下や研修室、相談室など他のスペースも活用している。	・工夫しているが狭いと感じることも度々あります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1		・日によって足りないと感じることもあります。安全に活動できるように活動内容と人員を考慮して行います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	1	・絵カードやスケジュール、パーテーション等で出来るだけ視覚的に分かりやすくしている。	・カードの収納の仕方を工夫する必要があります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・個々にあわせて、環境を変化させたりして過ごしやすい空間を作っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1	・個別課題ができるスペースを作ったり、こどもの特性やプログラムに応じた部屋の選択をしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	1		・一部の職員での参加になっているため、日程の工夫をしていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13			・評価を職員に伝え、改善に繋げていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13			・評価を職員に伝え、改善に繋げていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5		・民間は任意であるため絶対に行わなければならないことではないが、利用の子供たちを考えると行った方が良いと思います。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		・法人内の研修はもちろん参加出来る時は進んで参加する。外部研修も職員に提示して参加を募っている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		・リハビリスタッフにより本人の様子を観察しながら、プログラムを実行している。公表もHPでしている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		・1年毎にアセスメントを見直し、支援につなげている。	・個々の計画に反映していけるよう、分析をしていきたいと思います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		・個々の様子や課題について話し合い、その内容を踏まえて計画を作成している。	・研修会に参加したり、個別支援計画の作成時に話し合いをして検討していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			・計画に沿って支援が行われるよう職員で共有していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	3		・アセスメントについては、1年で見直しをしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		・本人支援はもちろん、家族への支援も大切な支援と感じているため、具体的に設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		・多職種からの視点で活動を検討することができている。		

（援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1	・小集団が児童発達より多いため、その都度チーム内で考えている。 ・毎日活動前にミーティングを行い、プログラムが固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13			・その日の出席状況により、活動内容や計画の適宜変更をして対応しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13			・時間を決めて支援内容の確認をしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1	・翌朝、スタッフミーティングを行い振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		・電子カルテに活動内容や支援内容の記録をとることを徹底している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	1		・地域交流支援がコンスタントに出来るシステムがあったり、場があったりするとより良いと思っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	1	・課題や遊びの中で選択する場面をもつように意識している。絵カードを使ったり、個々に合わせ方法も工夫している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13		・会議への参加者は状況をよく理解している者であり、参加者だけでなくスタッフ間で共有も十分にしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11			・保健所からの災害時個別支援計画に一部参加したり、他事業所との連携に努めています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13			・計画等の共有はしていないが、毎日の送迎時に連絡や情報共有をしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11			・情報をもらいたいときは電話等で共有しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		・希望があれば情報提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3		・児童発達センターとは連携し情報共有しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12		・土曜日や長期休み時等に、放課後児童クラブのこども達と一緒に活動できる時間を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		・放課後等デイサービス連絡会に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12			・送迎時に状況を伝えあい、共有しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2		・家族の希望があり、マッサージ方法について理学療法士が伝える機会を設けたことがあります。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			・重要事項説明、支援プログラム、利用者負担額について説明をしています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			・家族からの意向にはなるべく応えていこうとしているが、現状と確認しながら伝えています。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			・計画の説明をし、現在の状態や今後の計画を話しサインをいただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	8	・一部の保護者（希望者）には、先輩母に相談をする機会がある。きょうだい児への支援や交流はない。	・父母の会の活動支援に対しての活動は十分に出来ているとは考えにくい状況。今後の課題であると思います。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11				・苦情解決責任者等の整備はしているが、子どもや保護者への周知はできていない状況です。送迎についての苦情があった際は関係保護者に伝えて協力を得るようにしました。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	・毎月初めに月間予定を配信したり、活動風景の写真なども個々で発信している。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		・個人情報守秘義務については十分配慮し写真等については、保護者の了解を得て実施している。		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			・個人に合った方法で対処しています。絵カード写真、文字、タブレット等で意思疎通を図っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2	・法人の行事に地域住民や関係保護者などを招待している。（高齢者の施設も併設している）		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		・毎月避難訓練を実施し、参加スタッフや子どもたち、訓練内容が固定化されないように配慮している。		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12			・利用契約の時や新しい症状が発症した時など看護師が把握するようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12			・保護者からの伝達で聞いているが、食事を伴う時は医師の指示を受けていきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			・安全管理については充分配慮をしています。。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			・今後、周知していくようにします。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		・ヒヤリハット報告書を作成し、スタッフ間で共有と対策について検討している。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		・毎年施設内研修を受講し、外部研修で得た知識もスタッフで共有している。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12		・身体拘束についての十分な説明と同意を得て、やむを得ない場合に必要最低限の拘束をしている。			